

報道機関 各位

一般財団法人とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「2018年の福島県内景気見通し」 ～県内の企業経営者へのアンケート調査結果について～

当研究所では、2018年を迎えるにあたり、11月に毎年恒例の「福島県内景気見通しアンケート」を福島県内各地の主要企業の皆さまにお願いし、70社からご回答を得ました。

今般、アンケート結果についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」2018年1月号（2017年12月27日発行）及び当研究所ホームページに掲載致します。

記

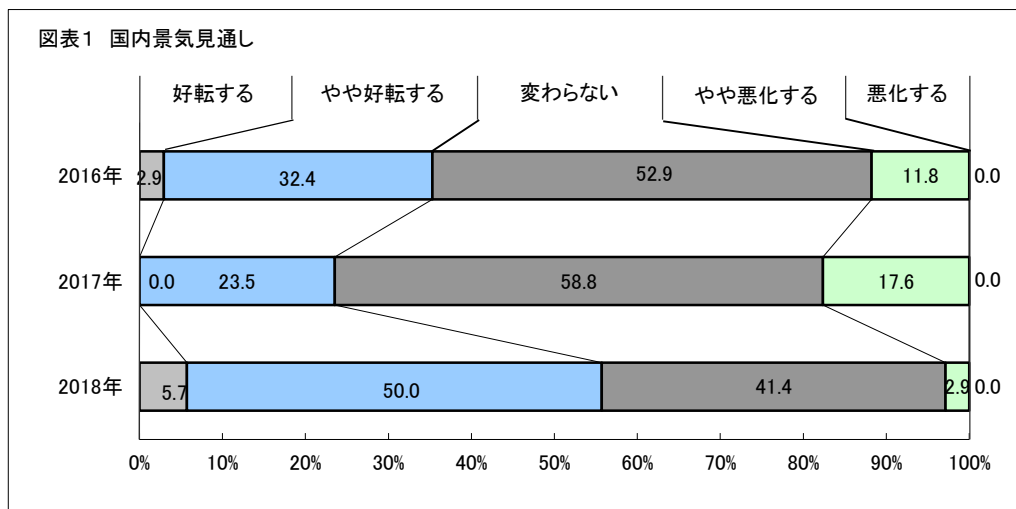
1. 国内景気見通し

Q. 2018年の「国内景気」について、2017年と比べてどのように判断しますか？

～好転する予想が増加、悪化する予想が減少～

	2016年	2017年 (a)	2018年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転・やや好転	35.3%	23.5%	55.7%	32.2ポイント
変わらない	52.9%	58.8%	41.4%	△17.4ポイント
やや悪化・悪化	11.8%	17.6%	2.9%	△14.8ポイント

※小数点以下は四捨五入のため、前年比増減が合致しない場合、下記図表と一致しない場合あり(次ページも同じ)



「好転する」「やや好転する」との意見が増加する一方、「悪化する」「やや悪化する」との意見が減少しており、全体として景気が良化すると感じている企業が増加している。

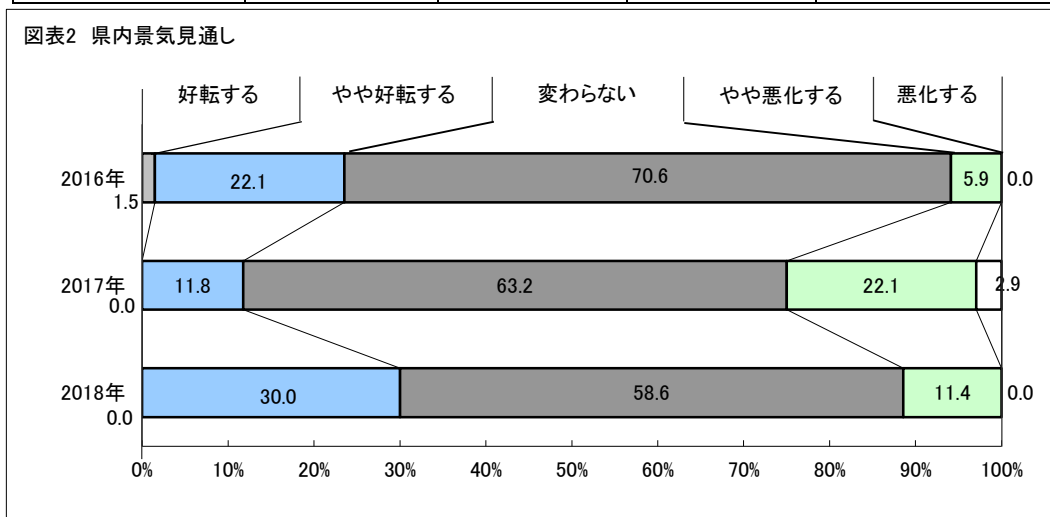
推移をみると、「好転する・やや好転する」とした回答は2016年の35.3%から2017年は23.5%と減少したが、2018年は55.7%と大きく増加に転じた。一方、「変わらない」との回答は2016年の52.9%から2017年に58.8%と微増、2018年は41.4%と減少した。「やや悪化する・悪化する」との回答も2016年の11.8%から2017年は17.6%と微増したが2018年は2.9%と大幅に減少する結果となった。なお「好転する」は2017年が0社であったが、2018年は4社あった（図表1）。

2. 県内景気見通し

Q. 2018年の「県内景気」について、2017年と比べてどのように判断しますか？

～国内景気同様「好転する」が増加～

	2016年	2017年 (a)	2018年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転・やや好転	23.5%	11.8%	30.0%	18.2 ㊦
変わらない	70.6%	63.2%	58.6%	△4.7 ㊦
やや悪化・悪化	5.9%	25.0%	11.4%	△13.6 ㊦



「県内景気」においては、「好転する・やや好転する」とする回答が2017年の11.8%から2018年は30.0%と増加した。一方、「やや悪化する・悪化する」とする回答は、2017年の25.0%から2018年は11.4%と減少した。「変わらない」とする回答は、2017年の63.2%から2018年は58.6%と前年より4.7ポイントの微減となった（図表2）。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 とうほう地域総合研究所 担当：佐山
 TEL 024-523-3171